事前質問	資料P.27「機体・運航に係る安全ルールの俯瞰（ドローン、成熟度レベル3）」において、「航空保安無線機器の技術基準等」とあるが、ドローンは航空機ではないため、「航空保安無線機器の技術基準」ではなく「無線機器の技術基準」が適切な表現ではないか。

- **<u>三菱総合研究所　大木様　回答</u>**

　ご指摘の通りのため、修正する。

会場からの質問	バッテリーはエネルギー密度が低く、航続距離が短いため、その欠点を補うために、燃料電池やエンジンとのハイブリッド動力等の新技術が開発されている。また、アーキテクチャの検討については、Joby Aviation社やArcher Aviation社が既に運航計画を立てている。このような最新の動向を、本事業でどのように活用していくのか聞きたい。

- **<u>三菱総合研究所　大木様　回答</u>**

　本調査では国内外の最新動向を調査した上で、要素技術についてはロードマップを作成し、戦略に落とし込むことを想定している。また、アーキテクチャに関しても、最新動向を反映していきたい。

　国内外の動向の変化によって本事業の方向性も変わっていくため、動向を注視しながら本調査に活かしたい。

オンラインからの質問	バーティポートでの離着陸判断にあたり、操縦士又は運航事業者との連絡調整が必要になると考えられるが、通信、監視のインフラは既存の航空管制と同様のシステムを利用する前提か。

- **<u>三菱総合研究所　大木様　回答</u>**

　通信、監視のインフラについては、成熟度レベル3では既存の設備を利用する前提で検討している。